「健康生きがいづくりアドバイザー・８０歳からの生き方アンケート調査」のお願い

一般財団法人　健康・生きがい開発財団
副理事長　吉　田　隆　幸

人生１００年時代を迎え、長い老後の生き方にどう取り組んで行くかに、関心が高まっています。我々ＡＤ拡大推進企画チームは、財団・協議会・ＡＤの発展のためにお手伝いしています。

これからの高齢者は人生１００年時代と長寿社会を経験していくことになりますが、低経済成長、社会保障費の削減、定年延長等の環境の中で、自己責任型の生き方に変化することが予想されます。

一方で、現在のＡＤは７８歳ぐらいで、ＡＤを引退される方が多いですが、健康生きがいづくりを学んだ、現在８０歳以上のＡＤはどのようなライフプランを進めているのかが、人生１００年時代を生きる指針になるのかと考え調査をお願いする次第です。

なお、<u>調査対象者は７０歳以上</u>の方とします。

「質問事項」

★１～１１までの質問は調査対象者の基本属性について、お聞きします。
★核当する項目に「☑」を入れてください
★また記載について、足りない場合には別紙記載にてお願いします。

１．性　別　：□①男性　□②女性

２．年　齢　：□①７０～７４歳　□②７５～７９歳　□③８０～８４歳
□④８５～８９歳　□⑤９０歳以上

３．健 康 度　：□①健康　□②虚弱　□③要介護

４．家庭経済　：□①余裕　□②安定　□③厳しい

５．家　族　：□①夫婦＋家族　□②夫婦　□③一人暮らし

６．暮らし方　：□①生涯現役　□②悠々自適　□③何もしてない

７．あなたにとっての「生きがい」は何ですか（複数回答可）

□①家族　□②友達・仲間　□③就労　□④社会参加・貢献
□⑤趣味・余暇　□⑥学 習　□⑦地域貢献　□その他

８．あなたにとっての「不安」は何ですか（複数回答可）。

□①健康　□②経済　□③家族　□④トラブル
□⑤加齢・老化　□⑥死　□⑦特になし　□その他；

９．あなたにとっての「生活障害」は何ですか（複数回答可）。

□①気力の低下　□②体力等の老化現象の増大
□③つれあいの世話　□④行動の時間がかかる　□⑤特別なし

１０．ＡＤの活動状態についてお聞きします。

□①財団登録会員　□②協議会会員　□③他の団体で活動
□④個人で活動　□⑤活動していない

１１．ＡＤとして活動している場合、具体的にお書きください。

１２．人生１００年時代８０歳以上を具体的生きがいも入れてどう生きるかについてお書きください。（★この質問では、７０歳代の人は８０歳になった時を想定して、書いてください。）

１３．財団についてお気づきの点・要望等がありましたらお書きください。

○ご回答者　　お名前　　電話番号

E-mail　　@

協力ありがとうございました、今後の参考にさせていただきます。
また、結果については、財団ホームページに記載させていただきます。
なお、ご応募いただいた方には、財団ネーム入りボールペンを送付させていただきます。

問い合わせ先
一般財団法人　健康・生きがい開発財団　大熊　謙治
電話　０３－３８１８―１４５１　ＦＡＸ０３－３８１８－３７２５
E-mail　okuma@ikigai-zaidan.or.jp
送り先　一般財団法人　健康・生きがい開発財団　大熊謙治宛
〒112－0002　東京都文京区小石川５丁目２－２　わかさビル４Ｆ